

ファシリテーターの役割



学習を支援し、促進する人を「ファシリテーター」(進行役)といいます。

参加者が安心して話し合い、学びが深まるようサポートをします。

基本
姿勢

参加者に
よきよう

話すより聞く
立場

参加者から
学ぶ

① 安心して話し合える雰囲気を作りましょう。

参加者は、他の人が自分の話をうなずきながら聴いてくれるととても安心します。ファシリテーターが一人一人の話をよく聴き、共感する姿を示しましょう。

② 参加者の学びを深めましょう。

参加者の前向きな態度を認めるなど、意欲を高める声かけが参加者の主体的な学びを促進します。また、他の人と違った考えを認めることで、新たな気づきや柔軟な発想、話し合いの活性化につながります。質問したり、説明を詳しくするよう伝えたりすることも効果的です。

③ 参加者どうしのつながりを支援しましょう。

参加者全員が自分の悩みや考えを進んで話すとは限りません。話すのが苦手な人や孤立しがちな人もいるかもしれません。この後もつながり合い、支え合うきっかけづくりができるよう、グループの様子を見守りながら、参加者同士が関わり合えるよう声をかけることも大切です。

④ 学習の流れを調整しましょう。

事前に時間配分を考えて計画を立てますが、計画通りに進行しないこともあります。参加者の様子確かめながら、説明や時間配分など、参加者に合わせた進行を心がけ、流れの調整をすることが大切です。

⑤ 深刻な問題は、個別に対応しましょう。

学習後に参加者から相談を受ける場合があります。思いを受け止めながら話を聞き、深刻なケースは、関係機関への相談を勧める等の対応が必要です。関係機関につなぐ際には、相談者の了解を得て連絡するなど、丁寧に対応しましょう。